

大町町の特徴や誇れるもの



大町町は近世から長崎街道の「間の宿」として栄え、江戸時代後期には民政の中心となる、横辺田代官所がおかれていました。

明治42年に杵島炭鉱が創業し、各地から人が集まり、昭和16年には人口24,000人の最盛期を迎えました。炭鉱マンの愛した「たろめん」は、ご当地B級グルメとして人気を集めています。

北部は南面傾斜をした山麓で町のシンボル聖岳がそびえており、果樹園地や畑となっています。数多い美しい溜池は、県内有数のバスフィッシングの名所です。南部には、白石平野の一角をなす耕作地が広がります。



炭鉱の記憶



ボタ山
わんぱく公園



伝説の地
パワースポット
長寿の滝



重文 土井家住宅



煉瓦館

町文化財担当が出前授業を行い、子供達が社会科や総合的な学習の時間の中で、地域のよさや歴史などを学んでいます。

教育委員会所在地： 杵島郡大町町大字大町5017

連絡先： 0952-82-3177

学校数： 義務教育学校 1校

大町町立小中一貫校大町ひじり学園

教育目標 「大磨 智誠」～知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指す
キャリア教育目標 「夢に向かって、絆・全力・挑戦！」



九州初の義務教育学校です。キャリア教育を視点に9年間の小中一貫教育とコミュニティ・スクールを推進しています。

また、令和4年度からは「志共育」に取り組み、主体的に学ぶ児童生徒の育成を進めています。

地域と共にある学校

大町町の子供達は、地域行事によく参加します。また、学校にはたくさんの地域住民が学校ボランティアとして活動しています。地域の方々とふれあうことで地域への関心も高まっています。



大町煉瓦館との協働



杵島炭鉱変電所跡活用推進会が2009年から「こどもガイド」の育成を行っています。

子どもたちに大町の炭鉱の歴史や文化、建造物などを学ぶ機会を作り、イベント等で学んだことを伝える活動を行っています。

大町のよさに気付き、大町を誇りに思う気持ちを醸成しています。